

福祉フォーラム会員募集

福祉フォーラムは会員制の組織です。参加ご希望の方はご入会をお願いいたします。

●年度会費：2,050円（2016年4月～2017年3月31日まで）

会員特典

1. フォーラム事業（講座、フォーラム等）に会員割引にて参加できます。
2. 本学教員と協力して、新しい研究会の企画や運営に関わることができます。
3. 福祉フォーラムの各種事業案内をお送りいたします。
4. 福祉フォーラム通信をお送りいたします。
5. 龍谷大学図書館（深草・大宮・瀬田）を利用できます。
〔図書館の利用には、図書館利用カード（RINSカード）が必要です〕

※入会ご希望の方は事務局（電話077-544-7291）にご連絡ください。

今後のスケジュール

第16回専門セミナー

各市町家庭児童相談室・県子ども家庭相談センター共同研修

「語りから未来を紡ぐ」

開催日：2017年1月26日(木)

場 所：龍谷大学瀬田キャンパス6号館第1グループワーク実習室

共 催：滋賀県

第17回専門セミナー

「子ども支援のための多職種連携ワークショップ」

開催日：2017年2月4日(土)

場 所：彦根市福祉センター別館

共 催：滋賀県、彦根市社会福祉協議会

第18回専門セミナー

「要保護児童対策地域協議会」

開催日：2017年3月3日(金)

場 所：近江八幡市ひまわり館

共 催：滋賀県

お問い合わせ

龍谷大学福祉フォーラム事務局（REC 滋賀）

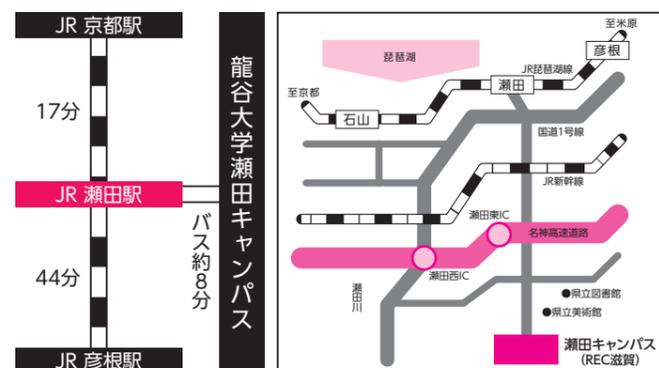
〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷 1-5

Tel 077-544-7291 Fax 077-543-7771

E-mail r-fukushi@ad.ryukoku.ac.jp

ホームページ <http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/fukushi/>

JR 琵琶湖線「瀬田」駅下車
帝産バス「龍谷大学」行き（約8分）
名神高速「瀬田西IC」（大阪方面から）
「瀬田東IC」（名古屋方面から）より
文化ゾーン方向へ車で約5分【駐車場有】
※駐車台数に限りがあります。



福祉フォーラム通信



第15回共生塾

『Hello コレからはじまり』

日 時：＜展覧会＞ 2016年7月1日(金)～7月8日(金) 11:30～17:30
＜講演会＞ 2016年7月6日(水) 13:40～15:20
＜ギャラリートーク＞ 2016年7月6日(水) 15:30～16:30

講 師：山下 完和 氏（やまなみ工房施設長）

会 場：本学瀬田キャンパス2号館210教室

トークセッション：山下 完和 氏（やまなみ工房施設長）
清家 竜介 氏（本学社会学部講師）
樽井 康彦 氏（本学社会学部准教授）

主 催：龍谷大学福祉フォーラム

共 催：社会学部学会

2016年7月6日(水)、瀬田キャンパスにて、【障がい者アート展 HELLO】講演&トークセッション/ギャラリートークを開催しました！

近年注目を集めている障がい者アートの展覧会を、2016年7月1日(金)から7月8日(金)までの期間開催し、本学瀬田キャンパス内に滋賀県内にある障害者福祉施設「やまなみ工房」の作品を展示しました。

「やまなみ工房」は国内で多数の展覧会に出品するだけでなく、海外からも作品の購入依頼がくるなど、その作品は高く評価されており、また最近ではNHKバリバラ「アッと驚くアートの世界」（2016年5月8日放送）で特集を組まれる等、ますますその評価は高まっています。

今回の共生塾では展覧会内のイベントとして、『アートで繋がる集団について』と題して、「やまなみ工房」施設長の山下完和氏に講演をしていた

できました。

山下氏は、やまなみ工房の活力ある作品・作家と参加者との「であい」を演出し、本イベントが何かのはじまりとなるきっかけになればという目的で開催していただきました。

山下氏の講演後、障害者アートをヒントに人と人の繋がりを根本から問い直すことをテーマに、本学社会学部の清家竜介氏、樽井康彦氏、ファシリテーターの松本拓氏も加わり、トークセッションを行いました。

講演&トークセッション後は、引き続き山下完和氏によるギャラリートークを行いました。作品を見るだけでは知ることができない作家や作品にまつわるエピソードを作品の前で説明いただき、来られた方も満足されていました。



(参加者の声)

- ★実際に障がいをお持ちの作家の方のライブパフォーマンスを見ることができ、講演の内容がより深く感じました。
- ★素晴らしい作品がたくさんあり感動しました。
- ★次回もこのようなテーマのイベントがあれば是非とも参加したい。

福祉フォーラム2016

『子どもの貧困問題に取り組む人たちを支える』

日時：2016年12月3日(土) 13:30～16:30

会場：本学瀬田キャンパス 8号館101教室

講師：村井 琢哉氏 (特定非営利活動法人 山科醍醐こどものひろば)

シンポジスト：恒松 睦美氏 (NPO法人あめんど)

田中 裕子氏 (子どもの居場所まんま)

井内 映里 (本学学習支援サークル「トワイライトホーム」学生)

二宮 早希 (本学学習支援サークル「トワイライトホーム」学生)

コーディネーター：三谷 はるよ (本学社会学部講師)

主催：龍谷大学福祉フォーラム

共催：滋賀県

12月3日(土)、龍谷大学福祉フォーラムでは、福祉フォーラム2016「子どもの貧困問題に取り組む人たちを支える」をテーマとした、講演会およびシンポジウムを本学瀬田キャンパスで開催しました。

講演会は、特定非営利活動法人「山科醍醐こどものひろば」の村井 琢哉 理事長をお迎えし、『子どもの貧困支援の現実と対応』をテーマにご講演いただきました。村井氏は、子どもの貧困に対する実践に取り組み、年間約70カ所での啓発活動や、各地の支援活動をサポートとする他、多くの講演も行なわれています。

村井氏からは、子どもの貧困問題の現状や対応策について、ご自身の活動経験をもとにしながら講演いただきました。村井氏から子どもの貧困問題を支援されている方に対して、「最初の活動は小さくても、続けて支援活動を行っていく中で、できることも増えて活動も大きくなっていく」と話



され、そのためにも「支援者が肩の力を抜いて活動を続けることが大切」など、多くの助言をいただきました。

続いて、本学社会学部 三谷 はるよ 講師がコーディネーターとなり、実際に子どもの貧困問題の支援活動をされている方々にご登壇いただき、シンポジウムを開催しました。

シンポジストとして、恒松 睦美氏 (NPO法人あめんど)、田中 裕子氏 (子どもの居場所まんま)、また本学の学生による学習支援サークル「トワイライトホーム」の学生に登壇いただきました。

それぞれの活動内容や、実際の支援活動の現場で困っていることなどをお話いただいた後、村井氏からそれぞれの取り組みに対してコメントをいただきました。



■コーディネーターより一言

「子ども貧困支援の現実と対応」と題したシンポジウムでは、滋賀県内で子ども貧困支援に取り組む3団体の代表者にご登壇いただきました。それぞれの立場から、実践において抱える課題やその課題への取り組みについてご報告・意見交換を行っ

た後、村井琢哉氏にも課題への向き合い方について意見をいただきました。今後の支援において、「いかに支援する側もまた支えられるか」という観点をとともに探る有意義な時間となりました。



龍谷大学学習支援サークル「トワイライトホーム」

二宮早希氏・井内映里氏

平日の夕方から夜にかけて、貧困家庭で育つ子どもたちの夜の居場所づくり(トワイライトステイ)を行っている。子どもとの関係性の面や運営面で困難を抱えており、現場の専門職から助言を得たり勉強会を行ったりしている。

NPO 法人あめんど

恒松 睦美氏

大津市で、冒険キャンプや山登り等の子どもの体験活動や、トワイライトステイを行っている。支援が必要な子どもとのつながり方や、支援後の他の機関へのつなげ方に課題があり、専門的助言を受けられる機関の不足を感じている。

子どもの居場所まんま

田中 裕子氏

長浜市北郷里学区で子ども食堂を行っている。会場や支援者の確保が難しく、情報収集・発信に努めている。間口が広いゆえに「誰のための活動か」と悩むこともあるが、子どもが来やすい居場所づくりを続けることが大事だと考えている。

(参加者の声)

- ★貴重なお話が聞けて、良い経験でした。他人事だと感じてしまう心もまだありますが、日本の未来にとって子どもの格差はない方が良いと思いました。これからは興味を持って、情報を集めるところから始めていきたいです。
- ★私たちの地域で、今度「子ども食堂」が初めて取り組まれます。どのような形で関わっていくか、ヒントを頂いたように思います。ありがとうございました。
- ★貧困問題に関心があって参加しましたが、やはりあくまで子ども本位でスタートするべきことが一番大きな気づきでした。